レカロ スタート イクス
RECARO Start X

お使いいただく前に
車に取り付ける前に
車への取り付け・取りはずし
お子さまの乗せ降ろし
お手入れ・その他

レカロ スタート イクス

取扱説明書 品質保証書付

このチャイルドシートは「準汎用」装置として分類されております。
必ず、車種適合をご確認の上、ご使用ください。

- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。
- 58ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。
- **本書は本体シートカバーの右側面のポケットに保管してください。（5ページ参照）**

本製品は、ヨーロッパ統一規則（ECE R44/04 改訂）において認可された商品です。
●準汎用型（セミユニバーサル）：質量グループ 0+, 1
●体　重：～ 18kg 以下の乳幼児用
●弊社の「取付確認 車種リスト」にて取り付け可能な車両座席のみ使用可能

⚠危険	お子さまの体重が 9kg 以上になるまで前向きで使用しないこと

お使いいただく前に

このたびは、レカロ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表　示	表示の内容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

もくじ

お使いいただく前に

お使いいただく前に…… 1
各部のなまえ…… 3
使用条件…… 7
シートベルトの種類と使用上の注意…… 9
取り付けできない座席…… 11
安全にお使いいただくために…… 13

車に取り付ける前に

インナークッションの使いかた…… 19
ベースカバーの使いかた…… 21
衝撃吸収パッドの使いかた…… 22
幌の使いかた…… 23
リクライニングのしかた…… 27
シート部の回転のしかた…… 29

車への取り付け・取りはずし

取り付け準備…… 33
車への取り付けかた…… 35
取り付け完了チェックのしかた…… 41
車からの取りはずしかた…… 43
サポートレッグの取りはずしかた…… 44

お子さまの乗せ降ろし

お子さまにあわせた肩ベルト位置の目安…… 45
肩ベルト位置(ヘッドレスト部の高さ)の調節のしかた 46
お子さまの座らせかた…… 48
お子さまを降ろすときは…… 50

お手入れ・その他

シートカバーの取りはずしかた…… 51
シートカバーの取り付けかた…… 53
洗いかた…… 56
保管・廃棄のしかた…… 57
製品仕様…… 57
品質保証書…… 58
問い合わせ先…… 裏表紙

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

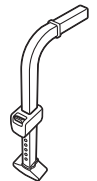
●ご使用前に、本書58ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。
　①製品名とロットNo.（ベース部背面に貼ってあるシールに記載されています）
　②お客様のお名前・ご住所・電話番号
　③販売店名

●領収書（レシート）を本書といっしょに保管してください。

※ 本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

梱包内容

●本体

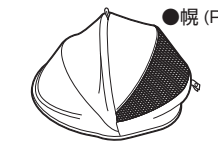
●サポートレッグ

●幌（Premium のみ）

●インナークッション

	RECARO Start X Premium	RECARO Start X
頭部用	※1	
衝撃吸収パッド		
座面用		

●取扱説明書（本書）

●お客様登録カード

●ベースカバー

※1 左右のポケットに、ウレタンが入っています。取り出された際には、上下の向きに注意して入れなおしてください。

衝撃吸収パッドについて

※ 鋭利な刃物で突いたり、切ったりしないでください。

※ 中央の衝撃吸収パッドはインナークッションからヘッドレストカバーへの付け替えが可能です。詳しくは22ページをご覧ください。

※ 工場出荷時、パッド類はインナークッションに取り付けられています。

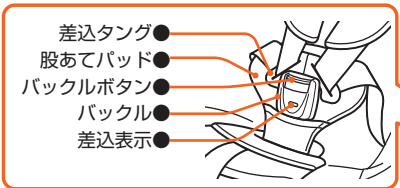
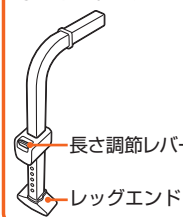
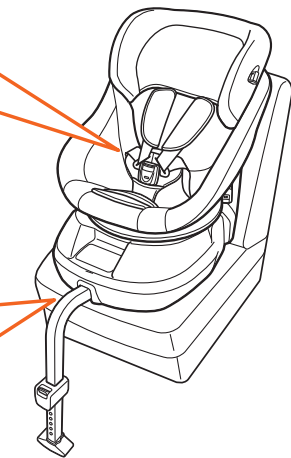
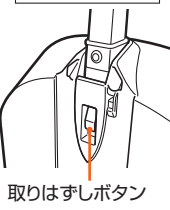
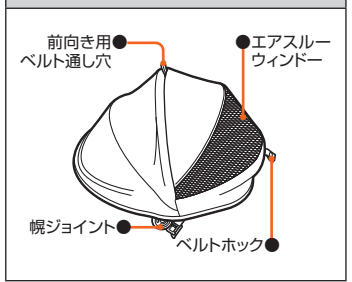
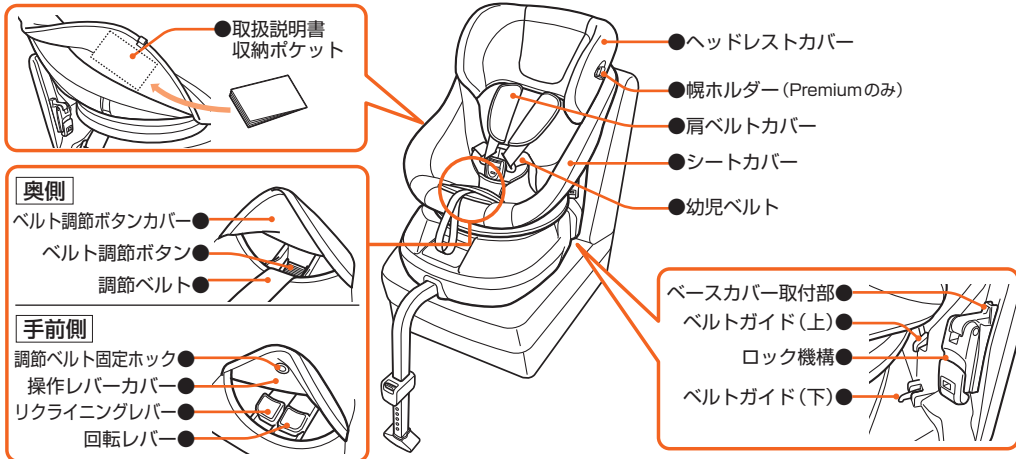
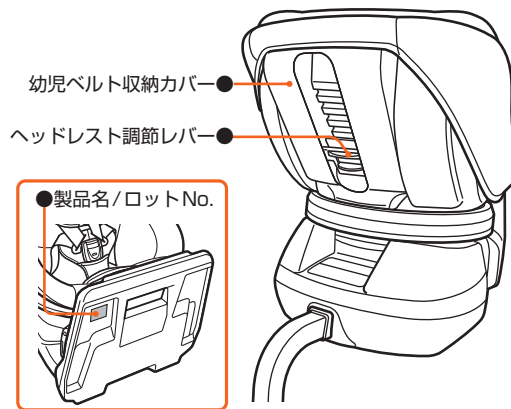
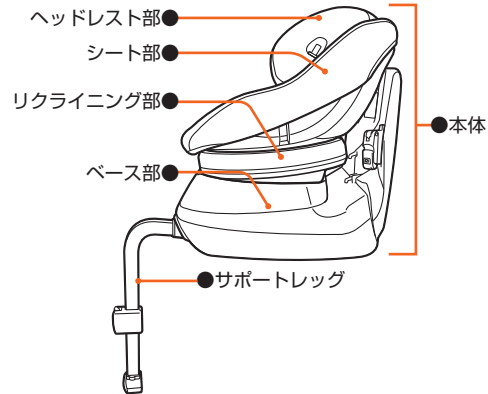
正面

各部のなまえ

正面

●取扱説明書収納ポケット
●ヘッドレストカバー
●幌ホルダー（Premiumのみ）
●肩ベルトカバー
●シートカバー
●幼児ベルト
奥側
ベルト調節ボタンカバー●
ベルト調節ボタン●
調節ベルト●
手前側
調節ベルト固定ホック●
操作レバーカバー●
リクライニングレバー●
回転レバー●
ベースカバー取付部●
ベルトガイド（上）●
ロック機構●
ベルトガイド（下）●

背面

幼児ベルト収納カバー●
ヘッドレスト調節レバー●
●製品名/ロットNo.

本書で使われる「本体」「シート部」「ベース部」「リクライニング部」「ヘッドレスト部」とは、下記の部位をいいます。
ヘッドレスト部●
シート部●
リクライニング部●
ベース部●
●本体
●サポートレッグ

使用条件

ここでは、お子さまの体重によるシート部の向き、インナークッションの使いかたなどを説明しています。お子さまの体重にあわせて正しく　お使いください。

お子さまの体重にあわせて、３段階の使いかたをします。（幌の使いかたについては、23 ページ参照）

2.5kg（体重）　9kg　13kg　18kg

●体重 9kg 以上 13kg 未満のお子さまは、後向き、前向きどちらでもお使いいただけます。

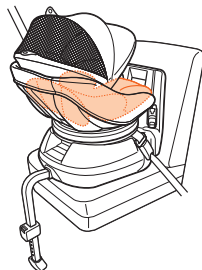
後向き

1 体重 7kg 未満の場合

- ●進行方向に対して**後向き**
- ●インナークッション頭部用、座面用を必ずセットで使用する
- ●全てのリクライニング角度が使用可能
- ●幌が使用可能（Premium のみ、23 ページ参照）
- ●ベースカバーを使用する（21 ページ参照）

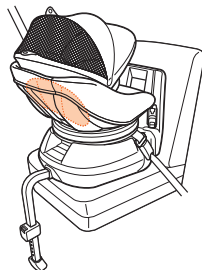
⚠注意　お子さまへの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1 時間程度を目安に休憩をとってください。また、首がすわるころまでは、お子さまの体調の変化に気をつけながらご使用ください。

使用の目安

身長の目安：～ 60cm 程度
年齢の目安：新生児～ 4 ヵ月ころ（首がすわるころ）
※新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上

2 体重7kg以上13kg未満までの場合

- ●進行方向に対して**後向き**
- ●インナークッション座面用は使用禁止
- ※インナークッション頭部用が使用できます。お子さまの体形にあわせて任意で使用してください。
- ●全てのリクライニング角度が使用可能
- ●幌が使用可能（Premium のみ、23 ページ参照）
- ●ベースカバーを使用する（21 ページ参照）

使用の目安

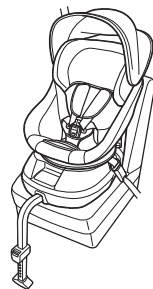
身長の目安：60cm ～ 80cm 程度
年齢の目安：4 ヵ月ころ（首がすわるころ）～　1 才 6 ヵ月ころ

前向き

3 体重9kg以上18kg以下までの場合

- ●進行方向に対して**前向き**
- ●インナークッションは使用禁止
- ●全てのリクライニング角度が使用可能
- ●幌は日よけとして使用するかヘッドレスト部から取りはずす（Premium のみ、23 ページ参照）

「前向き」使用時は幌は小さくたたんで幌上部のホックを閉じて「日よけ」として使用するか、ヘッドレスト部から取りはずしてください。（Premiumのみ、23ページ参照）

使用の目安

身長の目安：75cm ～ 105cm 程度
※乗せたとき、後頭部が本体の背もたれから上に出ないこと
年齢の目安：1 才ころ～ 4 才ころ

- ● 体重 9kg 未満は必ず後向きでご使用ください。前向きでの使用は非常に危険です。
- ●「身長の目安」や「年齢の目安」はあくまでも目安です。身長や年齢が上記条件を満たしていても、「体重条件」を満たしていない　お子さまはお使いになれません。

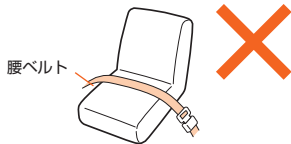
シートベルトの種類と使用上の注意

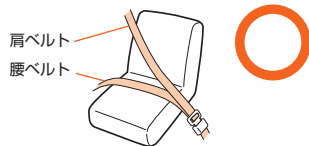
チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品は UN/ECE 規則 No.16 または、他の同等の基準に基づいて認可された 3 点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

⚠危険	●必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。 ●2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

2 点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右 2 点で体を支えるシートベルトのこと。

3 点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの 3 点で体を支えるシートベルトのこと。

シートベルトの種類と特徴（見分けかた）		取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	○ ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。本製品のロック機構により固定してください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。（シートベルトを全て巻き戻すと解除される）	○ シートベルトを全て引き出し、チャイルドシート固定機能をきかせた状態で、本製品のロック機構により固定してください。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	× 使用できません。

＊シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

取り付けできない座席

次の条件のいずれか１つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかり固定できない場合には使用しないでください。

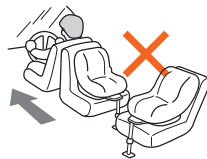
●車両シートベルトの付いていない座席。

●2点式シートベルトの座席。

●エアバッグ装備の座席。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

●極端なバケットシート。
…座面の中央が深くへこんでいる座席。

●座面の奥行きが 40cm未満の座席。

●進行方向に対して横向き、または後向きの座席。

●座面の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。

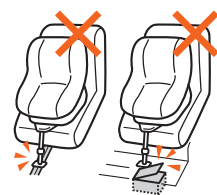
●パッシブシートベルトの付いた座席。
※パッシブシートベルトとは
…車両座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。（オートマチックシートベルト）

●車両シートベルトの長さが極端に短い座席。

●車両シートベルトの取り付け幅※が32cm未満の座席 。
※車両シートベルトが座席の端にあたっているところから、バックルの付け根までの長さ。

●車両シートベルトが座席の中間から出ている座席。
…チャイルドシートの車両シートベルト通し穴の位置よりも、前方向から車両シートベルトが出ている座席。

●車両ヘッドレストが極端に出っぱっている座席
…車両ヘッドレストの形状により、リクライニング操作や回転操作、チャイルドシートのヘッドレスト調節操作ができない座席。
※車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずすことで操作が可能になればその座席でも取り付けできます。

●サポートレッグの先端部に座席のスライドレールや床下収納スペースなどがある座席。

●床に対して座面が低い座席または高い座席、床の形状などにより、サポートレッグを正しく調節できない座席。

つづく

⚠危険

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

●使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。

●サポートレッグを取り付けない状態で使用しないでください。
必ず本体に取り付け、長さを調節して使用してください。
（35、40 ページ参照）

●車に取り付けるときは、必ず車両シートベルトで固定してください。ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。

●車に取り付けるときは、車両シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。誤った部分を通して取り付けないでください。

⚠危険

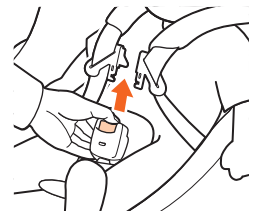
●エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

●車両シートベルトおよび座席の種類などにより、取扱説明書どおりにチャイルドシートをしっかり固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

●チャイルドシートのシート部を横向きにしたまま走行しないでください。（お子さまの乗せ降ろしのときのみ横向きで使用してください）

●お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。
座らせたときには、お子さまに股あてパッド、幼児ベルトが正しく装着され、左右の差込タングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。

⚠緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

⚠警告

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

●幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。
※幼児ベルトは正しい長さに調節してください。（45～50ページ参照）

●後向きで使用する場合には、必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください（19ページ参照）

●衝突事故や製品を落下させたときなど、１度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。

●車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。

●バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合、または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、レカロ スタートコールへお問い合わせください。

●幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、レカロ スタートコールへお問い合わせください。

●お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の機能を果たさず、さらに幼児ベルトが首に巻き付くおそれもあります。

⚠警告

●お子さまを車内に１人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。

●車両座席形状によって、チャイルドシートの背もたれが、車両ヘッドレストにぶつかり回転操作できない場合があります。その状態のままで、無理に回転させないでください。故障の原因になります。

●幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触する場合があり、危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。(Premiumのみ、23ページ参照)

●調節ベルトが操作レバーカバー裏にあるホックに固定されていない状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

次のような使いかたは、同乗しているかたに危険をまねくおそれがあります。

●お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなることがあります。

●エアバッグ装備のない助手席にチャイルドシートを取り付け、後向きで使用する場合、ドアミラーが見えにくい場合は後座席に取り付けてください。

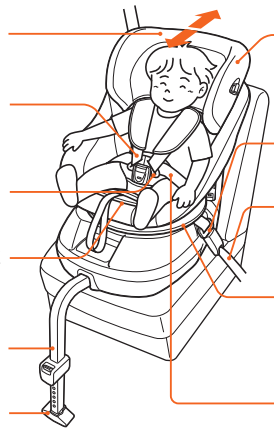
●シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けないでください。

●２ドアや３ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。

つづく

⚠日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

- チャイルドシートが車両座席にしっかりと固定されていること（本体を前後にゆすり、確認してください）
- 幼児ベルトがお子さまの体にフィットしていること（調節ベルトを引いてフィットさせてください）
- 差込タングがしっかりとバックルに差し込まれ、差込表示が緑に変わっていること
- 回転／リクライニングのレバーが正規の位置に戻っていて、シート部が確実に固定されていること
- サポートレッグが本体にしっかり固定されていること
- レッグエンドが床につくように、サポートレッグの長さが調節してあること

※イラストは前向き使用例

- 幼児ベルトが正しい位置になるように、ヘッドレストが調節されていること
- 車両シートベルトの差込金具がしっかりと車両バックルに差し込まれていること
- 車両シートベルトにゆるみ、たるみ、ねじれがないこと
- 回転／リクライニング操作後、シート部がロックされ確実に後向きまたは前向きになっていること
- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児腰ベルトを低く下げること

⚠注意

- 直射日光があたると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。

- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。

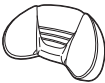
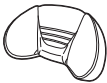
- チャイルドシートを通常のいすとして使用すると、転倒してけがをするおそれがあります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。
- チャイルドシートを持ち運ぶときは、ベース部以外を持たないでください。故障の原因となります。

- 爪を伸ばしていたり、付け爪をしていると、拘束や調節操作をする際、巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。
- 座席の表皮素材（革など）および形状によっては、取り付けた座席に傷や跡がつくおそれがあります。

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車両座席にクッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。
- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。
- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）
- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。
- 幌に、おもちゃやサンシェードなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。（Premiumのみ、23ページ参照）

インナークッションの使いかた

インナークッションは、小さな赤ちゃんを保護するためのもので、「後向き」使用時のみ使用します。（工場出荷時、インナークッションは取り付けられています） お子さまの体重によって使いかたが異なります。

⚠危険
インナークッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たさず危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。

⚠警告
● お子さまの体重が 7kg 未満の場合、頭部用と座面用を必ずセットで使用してください。
● お子さまの体重が 7kg 以上の場合、座面用は使用禁止。
● 体重に関わらず、「前向き」使用時は、インナークッションを使用しないでください。

⚠注意
● はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげになることがあります。
● チャイルドシートを持ち運ぶときは、インナークッションを持たないでください。

お子さまの体重にあわせて、３段階の使いかたをします。

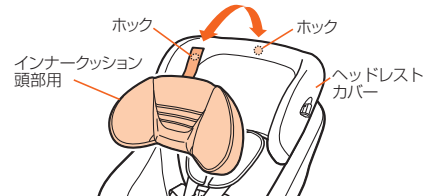
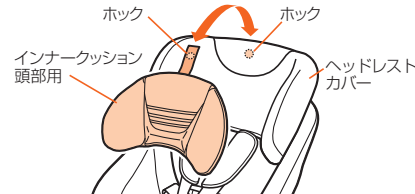
2.5kg（体重） 9kg 13kg 18kg

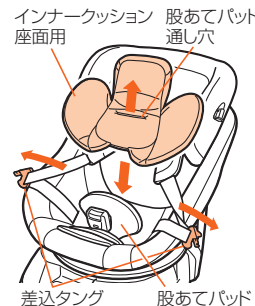
	後向き		前向き
	1 体重7kg未満	2 体重7kg以上〜13kg未満まで	3 体重9kg以上〜18kg未満まで
頭部用			使用禁止
座面用		使用禁止	使用禁止
	頭部用、座面用を必ずセットで使用する	頭部用はお子さまの体形にあわせて任意で使用してください。	使用しないこと

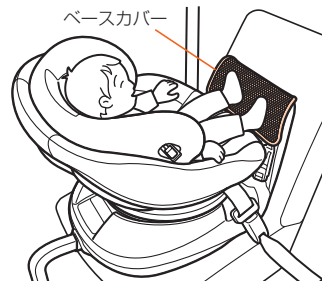
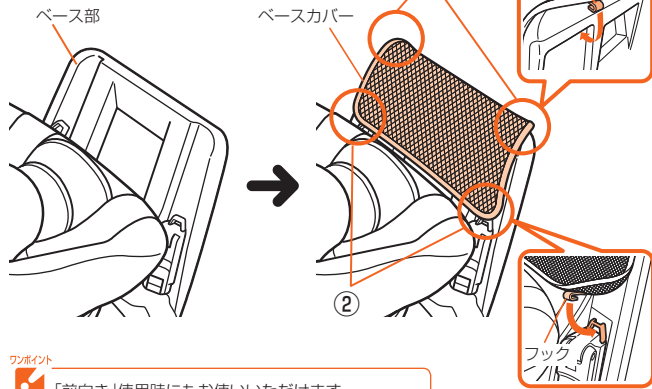
インナークッションの使いかたが変わったら肩ベルトを調節しなおしてから、チャイルドシートを使用します。「お子さまにあわせた肩ベルト位置の目安」（45ページ参照）

インナークッション頭部用の取りはずしと取り付け

① ヘッドレストを引き上げる。（46 ページ参照）
② インナークッション頭部用のホックとヘッドレストカバー裏の中央にあるホックとで取りはずしと取り付けをする。

●Start X Premium

●Start X

インナークッション座面用の取りはずしと取り付け

① バックルボタンを押して差込タングをバックルからはずす。（48ページ参照）
② 股あてパッドおよびバックルを股あてパッド通し穴に通し、取りはずしと取り付けをする。

ベースカバーの使いかた

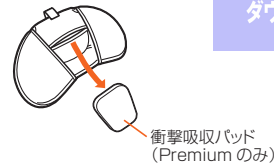
後向き使用の際、ベースカバーを使用し足を保護してください。
※ベースカバーを取り付けてから、チャイルドシートを車両座席に取り付けてください。

ベースカバーを取り付ける。
ベースカバーをベース部にかぶせ、①上部のフック、②下部のフック、あわせて4つのフックを取付部に固定する。

⚠ 警告
「後向き」使用時は、必ずベースカバーを使用してください。

⚠ 注意
ベースカバーを取り付けない状態でベース部を素足で蹴ったりこすったりすると、足にすり傷ができる場合があります。

ワンポイント
「前向き」使用時にもお使いいただけます。

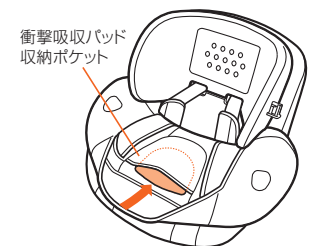
衝撃吸収パッドの使いかた（Premium のみ）

中央の衝撃吸収パッドは、インナークッションからヘッドレストカバーへの付け替えが可能です。（パッド類は工場出荷時はインナークッション頭部用に取り付けられております）
中央の衝撃吸収パッドの付け替えは、ヘッドレスト部から幌（Premium のみ）を取りはずしてから行ってください。
「幌の取りはずしかた」(26 ページ参照)
※ 側面の衝撃吸収パッドは、ヘッドレストカバーへの付け替えはできません。

1 インナークッション頭部用の裏側から、中央の衝撃吸収パッドを取り出す。

2 ヘッドレストカバーの上部裏のフック（2ヵ所）をはずし、ヘッドレストからから取りはずす。（51ページ参照）

3 中央の衝撃吸収パッドをヘッドレストカバー裏側の衝撃吸収パッド収納ポケットに付け替える。

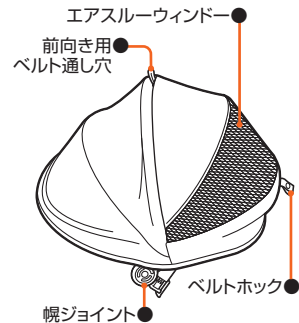
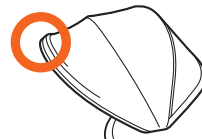
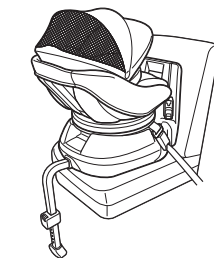
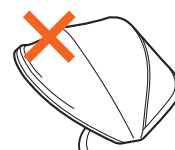
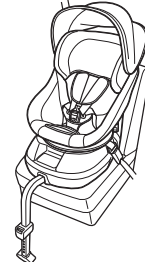
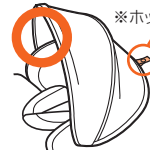
幌の使いかた（Premium のみ）

つづく

幌は「後向き」使用時には開いた状態で使用できますが、「前向き」使用時は、小さくたたんで幌上部のホックをとめて「日よけ」として使用してください。幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触する場合があり危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。

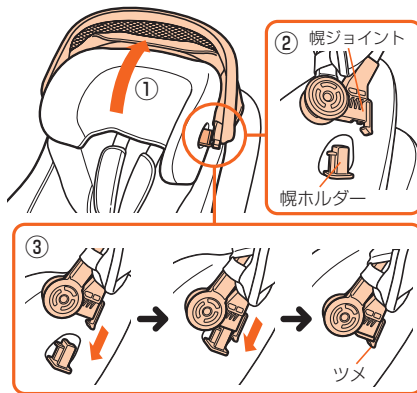
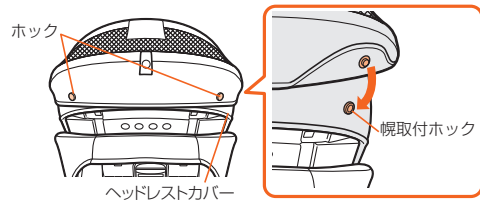
⚠ 警告

幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触する場合があり危険です。使いかたをよくお読みになり、正しくご使用してください。

⚠ 注意

- チャイルドシートを持ち運びするときは、幌を持たないでください。製品が破損する原因となります。
- 取りはずした幌を車内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげになることがあります。
- お子さまの乗せ降ろしの際に幌がさまたげになる場合は、幌を小さなサイズにたたんでご使用ください。（26ページ参照）
- 幌に、おもちゃやサンシェードなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。
- 幌を開いたり小さくたたんだりするときは、お子さまや周囲の人にも気をつけて、指や手などをはさまないように注意してください。

シートの向きにあわせた使いかたをします。

後向き	前向き	
開いた状態で使用可能 ※取りはずした状態でも使用できます。	開いた状態では使用しないこと	小さくたたみ、「日よけ」として使用可能 ※取りはずした状態でも使用できます。

※ホックをとめる

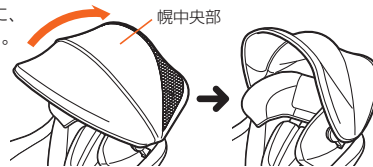
幌の取り付けかた

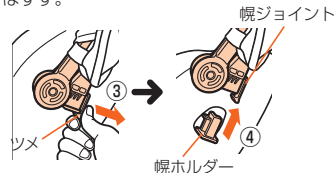
1 ① 幌を小さくたたみ
② 幌ジョイントをヘッドレスト部側面の幌ホルダーにあわせ、
③ 幌ジョイントの下端のツメが幌ホルダーにかかるまでしっかり差し込み固定する。

2 ① 幌取付ホックが見えるまで、ヘッドレスト部を引き上げる。（46 ページ参照）
② 幌背面の左右のホック（2 ヵ所）を、ヘッドレストカバーの幌取付ホックに取り付ける。

3 幌ジョイントが幌ホルダーにしっかり固定されており、幌背面の左右のホック（2 ヵ所）がヘッドレストカバーに取り付けられていることを確認する。

⚠警告	幌背面の左右のホック（2 ヵ所）が、ヘッドレストカバーに取り付けられていることを確認してください。
⚠注意	幌を開いたり小さくたたんだりするときは、お子さまや周囲の人にも気をつけて、指や手などをはさまないように注意してください。

お子さまの乗せ降ろしのときは、幌を小さなサイズにたたみます。

乗せ降ろしのとき（小さなサイズにたたむ）

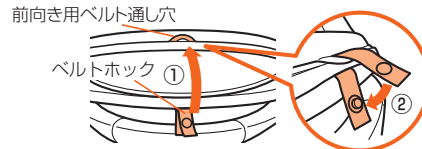
イラストのように、
幌中央部を閉じる。

幌の取りはずしかた

① 幌を小さくたたみ、
② 幌背面の左右のホック（2 ヵ所）をはずす。（25 ページ参照）
③ 幌ジョイントの下端のツメを指先で引きながら、
④ 幌ホルダーから取りはずす。

「前向き」使用時は、幌は、小さくたたみ幌上部のホックをとめて「日よけ」として使用できます。

前向きで使用するとき（日よけとして使う）

① 幌を小さなサイズにたたみ
② 幌背面にあるベルトホックを幌上部にある前向き用ベルト通し穴に通し、ホックでとめる。

⚠警告

- 幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触する場合があり危険です。
- 「前向き」使用時は幌は小さくたたんで幌上部のホックを閉じて「日よけ」として使用するか、ヘッドレスト部から取りはずしてください。

■前向き使用時

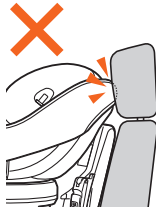
リクライニングのしかた

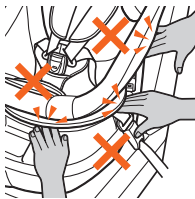
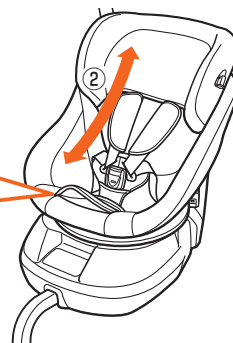
「後向き」および「前向き」使用時、お子さまの体重に関わらず、３段階に角度を調節することができます。

⚠警告

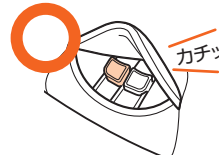
チャイルドシートのシート部が車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。

※ ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。

⚠注意

- シート部の背部やリクライニング部の下部のすき間に指や手などを入れたまま、リクライニング操作しないでください。
- 「後向き」使用時、お子さまの足がベース部背面にある穴に入った状態でリクライニング操作しないでください。
- 同乗者の手元にも十分ご注意ください。
- リクライニング操作は、必ず車を停車させて行ってください。
- 「回転レバー」と「リクライニングレバー」は同時には引けません。無理に同時に引くと故障の原因となります。

1 ① 操作レバーカバー下にあるリクライニングレバー（左側）を手前に引きながら、
② シート部のリクライニング角度を調節する。（前向き / 後向きともに３段階）

2 レバーから指を離してシート部を前後にゆすり、ロックされていることを確認する。

⚠警告

「回転」および「リクライニング」操作後には、レバーが「カチッ」と音がして、元の位置に戻り、シート部がロックされていることを確認してください。シート部がロックされていない状態で使用しないでください。

シート部の回転のしかた

どのリクライニングの角度でも、お子さまの乗せ降ろしをしやすくするため、シート部を回転することができます。

⚠危険

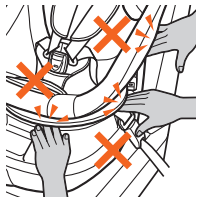
チャイルドシートのシート部を横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。
（お子さまの乗せ降ろしのときのみ横向きで使用してください）

⚠警告

チャイルドシートのシート部が車両ヘッドレストにぶつかって回転操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
※ ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。
- ロック機構が開いた状態でシート部を回転しないでください。故障の原因となります。

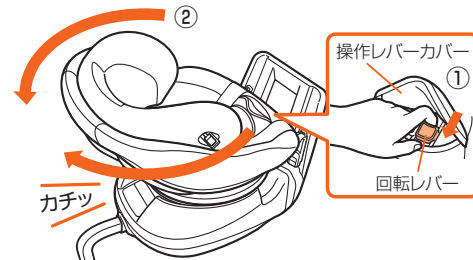
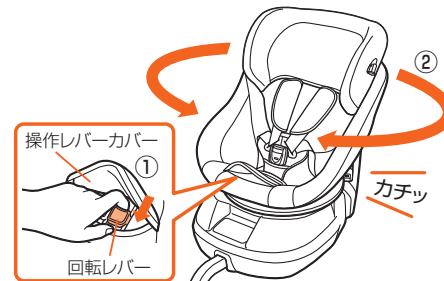
⚠注意

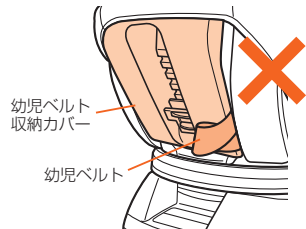
- ベース部背面やシート部の背面、リクライニング部の下部のすき間に指や手などを入れたまま、回転操作しないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベース部とシート部の間などにはさまれないようご注意ください。
- 「後向き」使用時、お子さまの足がベース部背面にある穴に入った状態で回転操作しないでください。
- 「回転レバー」と「リクライニングレバー」は同時には引けません。無理に同時に引くと故障の原因となります。

1 ① 操作レバーカバー下にある回転レバー（右側）を手前に引きながら、シート部をまわす。
② 動き始めたら回転レバーから指を離し、シート部が「後向き」または「前向き」になると、「カチッ」と音がしてロックする。

●後向き

●前向き

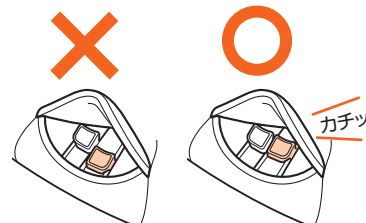
つづく

⚠注意

● 幼児ベルトが幼児ベルト収納カバーからはみ出ていないか確認してください。
はみ出た状態で回転させると、回転部に巻き込まれ、故障の原因となります。
幼児ベルトがはみ出ているときは、もう１度幼児ベルト収納カバーを開き、幼児ベルトを収納してください。

● 幼児ベルト収納カバーが確実に閉じていることを確認してください。開いた状態で回転させると、ベース部にぶつかり、故障の原因となります。

2 シート部を上下左右に動かし、確実にロックされていることを確認する。

※回転構造上シート部に遊びがあり、カタカタと音がしますが、問題なく使用できます。

⚠警告

「回転」および「リクライニング」操作後には、レバーが「カチッ」と音がして、元の位置に戻り、シート部がロックされていることを確認してください。シート部がロックされていない状態で使用しないでください。

取り付け準備

ここでは、本製品の取り付け上の注意と、車への取り付けかたを説明しています。

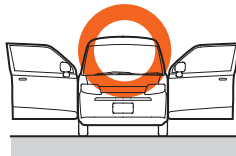
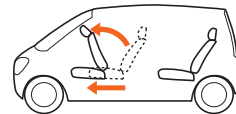
⚠危険

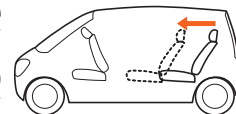
- チャイルドシートがしっかり固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- サポートレッグを取り付けない状態で使用しないでください。必ず本体に取り付け、長さを調節して使用してください。
- 車に取り付けるときは、ひもなど、車両シートベルト以外のもので固定しないでください。
- エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
  ※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。
- シート部を横向きにしたまま走行しないでください。（お子さまの乗せ降ろしのときのみ横向きで使用してください）

⚠警告

- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。
- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。
- エアバッグ装備のない助手席ににチャイルドシートを取り付け、後向きで使用する場合、ドアミラーが見えにくい場合は後座席に取り付けてください。
- シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けないでください。
- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。

取り付け作業の前に

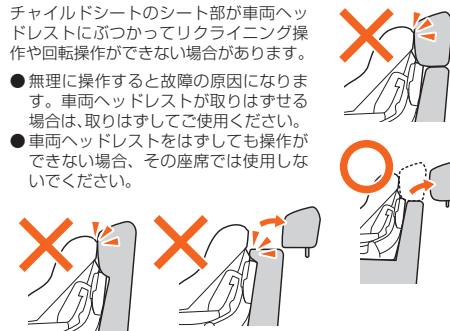
1 取り付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平らな場所で行ってください。

2 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付けてください。

取り付け座席のスライド機能について

取り付け座席にスライド機能が付いている場合、座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。「サポートレッグを調節する」（40ページ参照）作業の前に行ってください。

車両ヘッドレストについて

車両座席形状や車両ヘッドレストを確認し、車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてください。

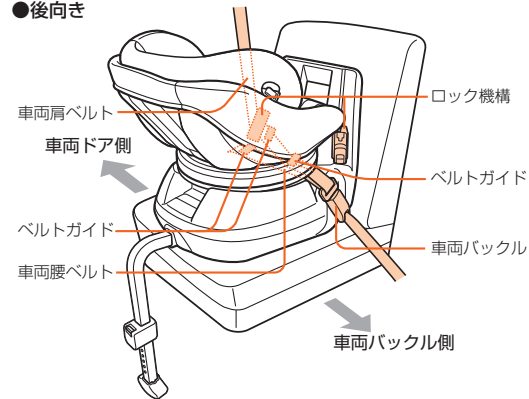
⚠警告

チャイルドシートのシート部が車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作や回転操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。

※ ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。

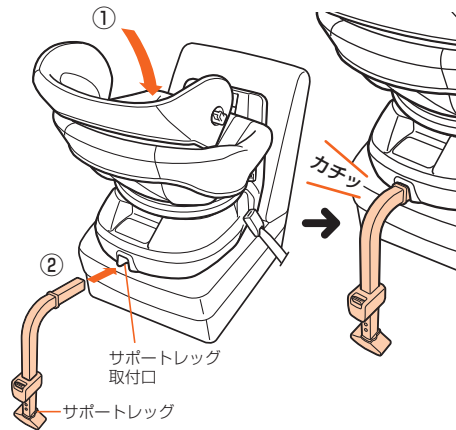
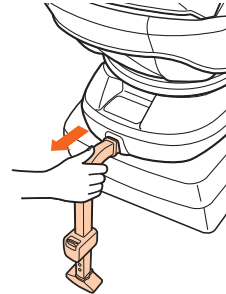
取付完了図

本図では、右側後座席への取り付け完了図となっています。左側では、取り付けかたが左右逆になります。

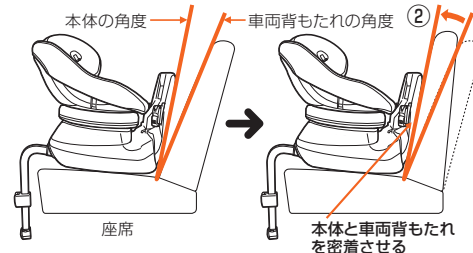
●後向き

車への取り付けかた

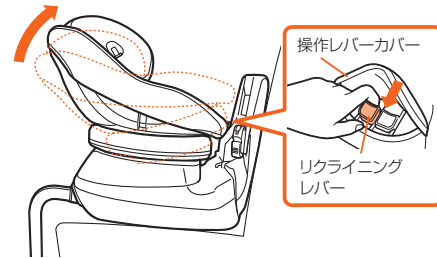
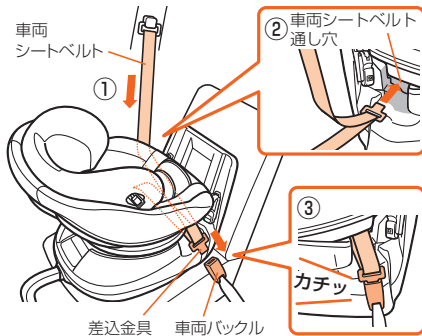
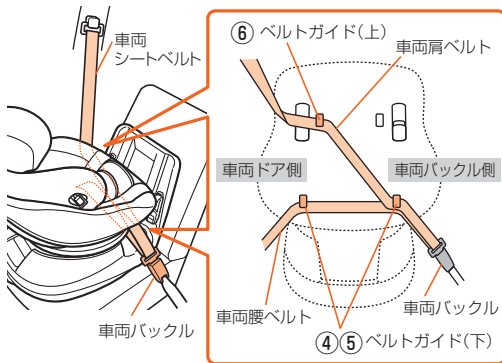
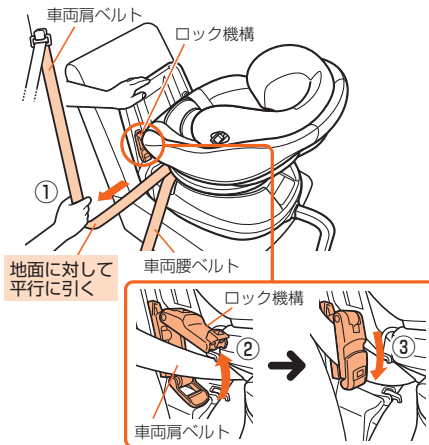
※ 本書では、右側後座席への取り付けかたを説明しています。
左側では取り付けかたが左右逆になります。

本製品は、後向きと前向きの２通りの使用方法がありますが、取り付けかたは同じです。
車への取り付けが完了したあとで、お子さまの体重にあわせてシート部を後向き、 前向きにまわしてご使用ください。
※インナークッションを取りはずしてから車への取り付けをします。（20 ページ参照）

1 ① 本体を車両座席に置く。
② サポートレッグを「カチッ」と音がするまで押し込む。

③ サポートレッグを引っぱり、しっかり固定されているか確認する。
※ サポートレッグは、手順７で長さの調節をします。

ワンポイント
サポートレッグの取りはずしかたは、44 ページをご覧ください。

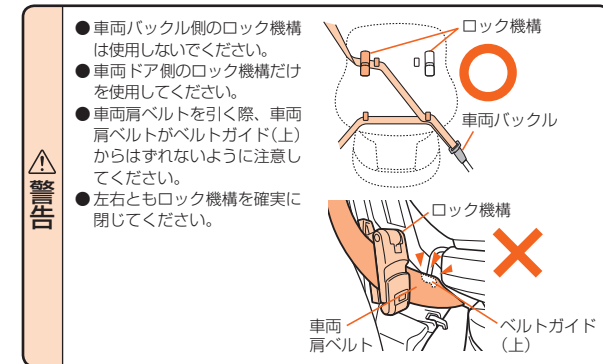
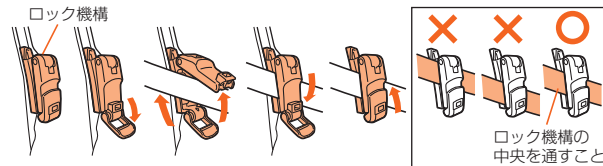
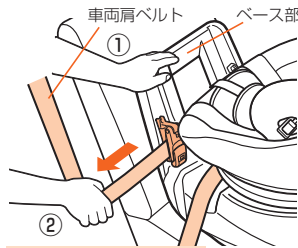
⚠警告
- サポートレッグを本体に取り付けない状態で使用しないでください。
- サポートレッグを本体に取り付けてから、車への取り付けを行ってください。
- しっかりと固定されているか確認してください。

2 ① 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、（34 ページ参照）
② 車両背もたれがリクライニングできる場合は、本体の角度にあわせて調節する。

3 車両シートベルトを通しやすくするため、シート部のリクライニング角度を最も起こした状態にする。（27 ページ参照）

つづく

4 ① 車両シートベルトをねじらないようにゆっくり引き出す。
② シートベルト通し穴に通す。
③ 反対側の通し穴から引き出し、差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。

④ 車両腰ベルトが左右のベルトガイド（下）にかかるように通す。
⑤ 車両肩ベルトが車両バックル側のベルトガイド（下）にかかるように通す。
⑥ 車両肩ベルトが車両ドア側のベルトガイド（上）にかかるように通す。

5 ① ベース部をしっかり押さえながら、車両肩ベルトを矢印の方向（地面に対して平行）に強く引き、車両腰ベルトのゆるみをとる。
② 車両肩ベルトを強く引いたまま、車両ドア側のロック機構を開く。
③ 車両肩ベルトを通し、ロック機構を閉じる。

●ロック機構の開閉のしかた

車両ドア側のロック機構を開き、車両肩ベルトを通し、ロック機構を閉じる。

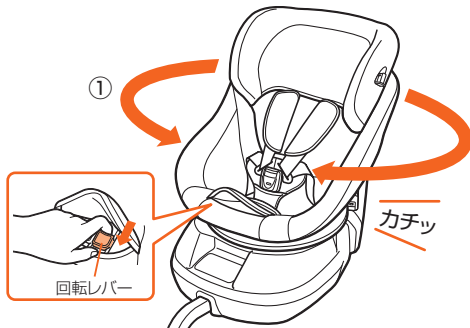
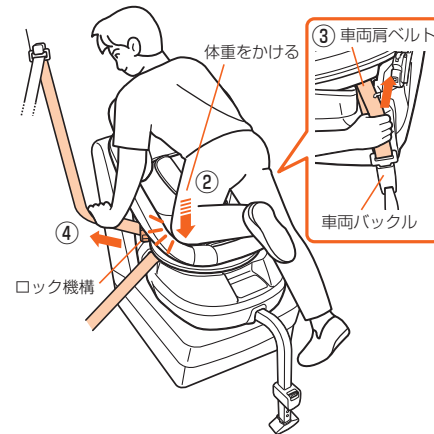
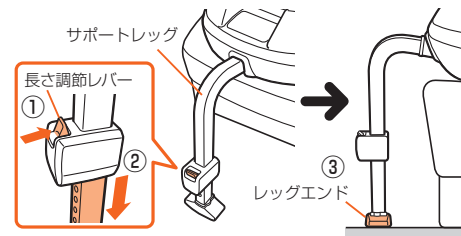
⚠警告

- 車両バックル側のロック機構は使用しないでください。
- 車両ドア側のロック機構だけを使用してください。
- 車両肩ベルトを引く際、車両肩ベルトがベルトガイド(上)からはずれないように注意してください。
- 左右ともロック機構を確実に閉じてください。

6 ① ベース部をしっかり押さえながら、
② 車両肩ベルトを地面に対して平行に強く引く。

⚠警告

● 車両バックルが製品本体にあたりバックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。
バックルベルトにゆるみがある状態では、使用しないでください。
※ 車両バックルが製品本体にあたっていても、バックルベルトにゆるみがなく、チャイルドシートがしっかり取り付けられていれば使用できます。

ワンポイント

取り付ける車両、および車両座席によっては、製品の横から車両肩ベルトを引けず、車両シートベルトのゆるみをなくせない場合があります。
その際には、下記の手順に従って、車両シートベルトのゆるみをなくしてください。

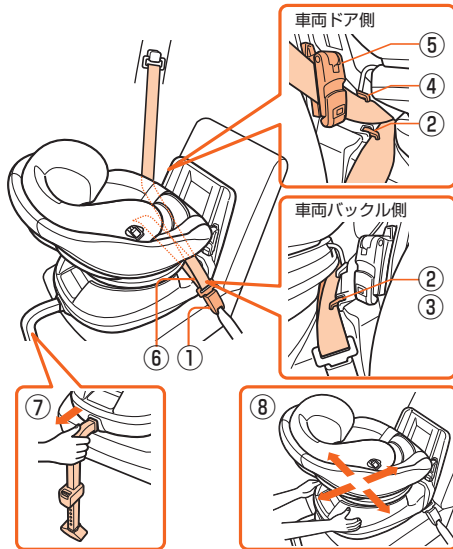
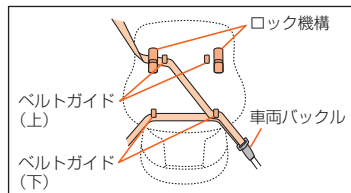
①シート部を「前向き」にする。（29 ページ参照）

② シート部奥にひざを乗せて体重をかけ、車両座席に本体を沈み込ませる。
③ 車両バックル上の車両肩ベルトを上に強く引き、
④ ロック機構部分の車両肩ベルトを真横に強く引き、車両シートベルトのゆるみをなくす。

7 ① サポートレッグの長さ調節レバーを引きながら、
② レッグエンドを車両の床まで伸ばし、
③ 長さ調節レバーを離すとレバーが戻り「カチッ」と音がしてロックされます。
④ レッグエンドを上下に動かし、固定されていることを確認する。

⚠危険

調節後は、サポートレッグのレッグエンドが必ず床についていることを確認してください。

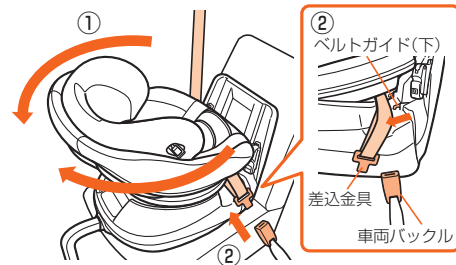
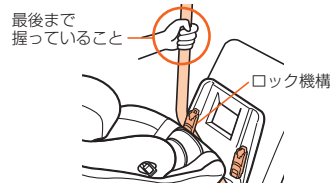
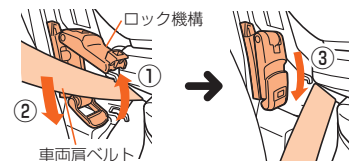
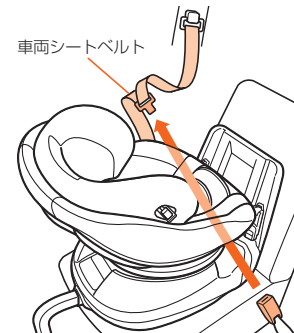
ご不明な点は、当社レカロ スタートコールへお問い合わせください。

取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

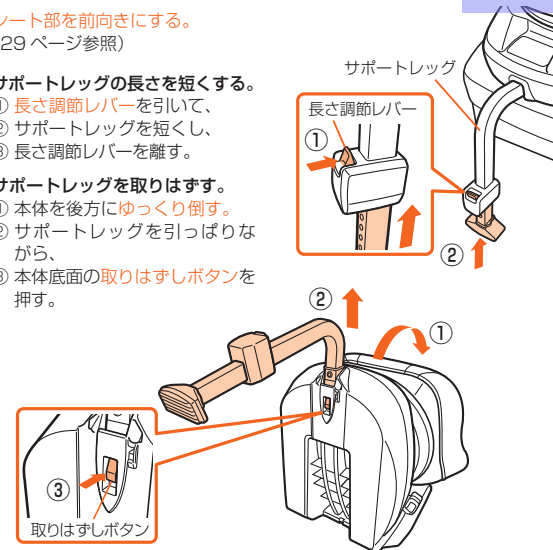
①車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
②車両腰ベルトが左右のベルトガイド(下)を通っていること。
③車両肩ベルトが車両バックル側のベルトガイド(下)を通っていること。
④車両肩ベルトが車両ドア側のベルトガイド(上)を通っていること。
⑤車両肩ベルトが車両ドア側のロック機構を通っていること。
⑥車両シートベルトに、ゆるみ・たるみがないこと。
⑦サポートレッグが本体にしっかり固定され、レッグエンドが車両の床につくように長さが調節されていること。
⑧ベース部を持ち、前後左右にゆすり、3cm以上動かないこと。

MEMO

車からの取りはずしかた

1 ① シート部をまわして後向きにする。（29ページ参照）
② 差込金具を車両バックルからはずし、ベルトガイド(上)やベルトガイド(下)から、車両シートベルトをはずす。

2 ロック機構部分の車両肩ベルトを握りながら、

3 ① ロック機構を開き、
② 車両肩ベルトをはずし、
③ ロック機構を閉じる。

4 車両シートベルトを引き抜く。

サポートレッグの取りはずしかた

1 シート部を前向きにする。
（29 ページ参照）

2 **サポートレッグの長さを短くする。**
① 長さ調節レバーを引いて、
② サポートレッグを短くし、
③ 長さ調節レバーを離す。

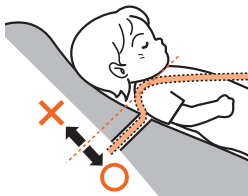
3 **サポートレッグを取りはずす。**
① 本体を後方にゆっくり倒す。
② サポートレッグを引っぱりながら、
③ 本体底面の取りはずしボタンを押す。

お子さまにあわせた肩ベルト位置の目安

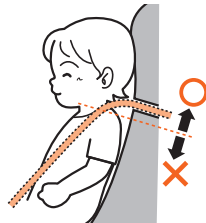
本製品はお子さまの成長にあわせ、肩ベルトの位置を変えて使用します。
本製品をご使用の前に、下記の肩ベルト位置を目安に調節してください。
（肩ベルト位置の調節のしかたについては、46 ページ参照）

⚠ 警告
- 肩ベルトの位置は、取り付け方向により適正な位置を選んで使用してください。
- チャイルドシートが不安定な状態でお子さまを座らせると、転倒のおそれがあります。部屋などで確認されるときは、ご注意ください。

肩ベルトの位置

●後向き使用時

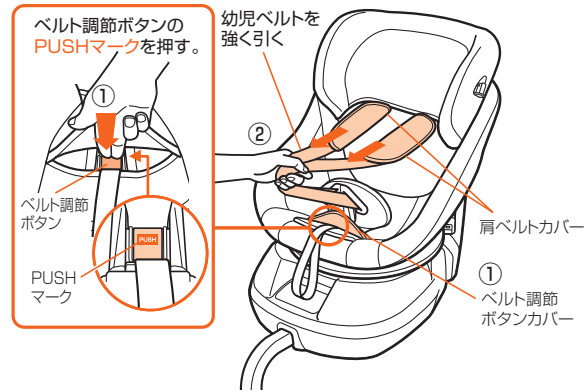
お子さまの肩の高さよりも、やや下（目安：3cm 程度）になるよう、肩ベルトの位置を調節してください。

●前向き使用時

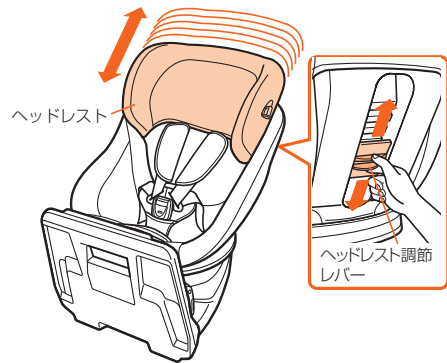
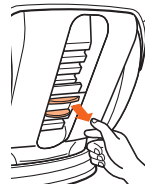
お子さまの肩の高さよりも、やや上（目安：3cm 程度）になるよう、肩ベルトの位置を調節してください。

肩ベルト位置（ヘッドレスト部の高さ）の調節のしかた

肩ベルトの位置（ヘッドレスト部の高さ）は、8 段階に調節できます。ただし、お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、調節しないでください。

1 シート部をまわして横向きにする。（29 ページ参照）
※本編では前向きの状態で説明しています。

2 ① ベルト調節ボタンカバーをめくり、ベルト調節ボタンの奥側の「PUSH」マークを強く押しながら、
② 左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に引きゆるめる。
※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。

つづく

肩ベルト位置(ヘッドレスト部の高さ)の調節のしかた

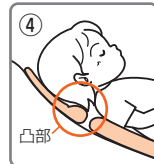
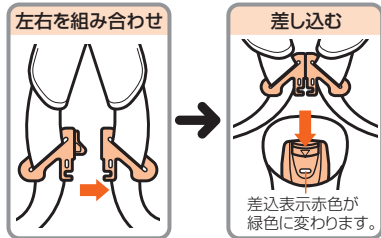
3 ① シート部をまわして後向きにする。
② ヘッドレスト調節レバーを引き、ヘッドレスト部の高さを調節する。

4 ① 適切な位置でヘッドレスト調節レバーを離す。
② ヘッドレスト調節レバーが戻っていることを確認する。
③ ヘッドレスト部を上下に動かし、固定されていることを確認する。

⚠警告
肩ベルト位置(ヘッドレスト部の高さ)を調節すると、幼児ベルトが締まったり、ゆるんだりします。
お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、肩ベルト位置（ヘッドレスト部の高さ)を調節しないでください。

お子さまの座らせかた

⚠警告
- おくるみなど、両足が分かれない衣類の着用はおやめください。

- お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。
- かさばったベビーウェアを着せたまま、座らせないでください。
- お子さまを座らせるときには、右図のような座らせかたをしないでください。
チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

1 ① お子さまを乗せやすくするため、シート部をまわして横向きにする。(29 ページ参照)
※本編では前向きの状態で説明しています。
② 幼児ベルトをゆるめる。(46 ページ参照)

2 ① バックルボタンを押し、差込タングをバックルからはずす。
② お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
③ 左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。
④ インナークッション頭部用の凸部がお子さまの首にあうように位置を調節する。

3 左右の差込タングを組み合わせてから『カチッ』と音がするまで、差込タングをバックルに差し込む。

ワンポイント
- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。
- 左右の差込タングを組み合わせないと、バックルに差し込めません。

警告
左右の差込タングが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

4 ① 腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。
② 肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
③ 調節ベルトの上側を手前に引き、
④ お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。

ワンポイント
- お子さまが窮屈でないように、また幼児ベルトがたるんだり、ゆるまないように調節してください。
- 幼児ベルトをゆるめるときは、46ページを参照してください。

警告
- 必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。
- 幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

5 お子さまの体重にあわせて(7ページ)、シート部を後向き、または前向きにまわして(29ページ)使用する。

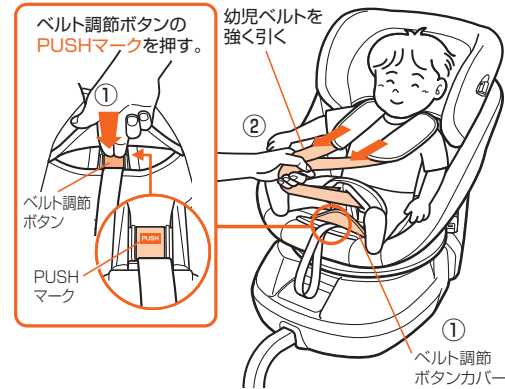
注意
お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、またベース部とシート部の間などにはさまれないようご注意ください。

お子さまを降ろすときは(幼児ベルトをゆるめるには)

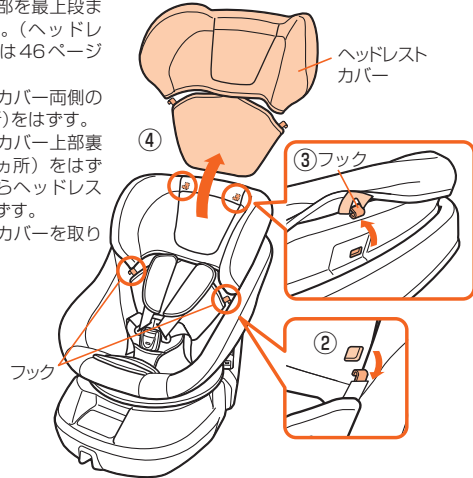
①ベルト調節ボタンカバー下のベルト調節ボタンの奥側の「PUSH」マークを強く押しながら、
②左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に引き、ゆるめる。

お子さまの乗せ降ろし

シートカバーの取りはずしかた

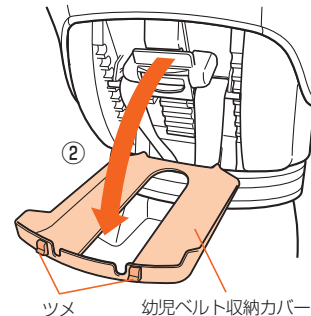
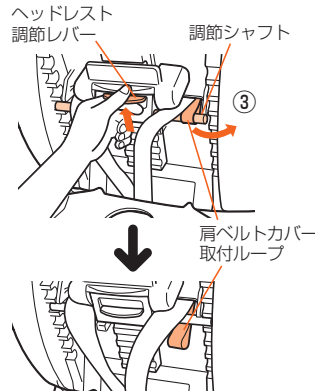
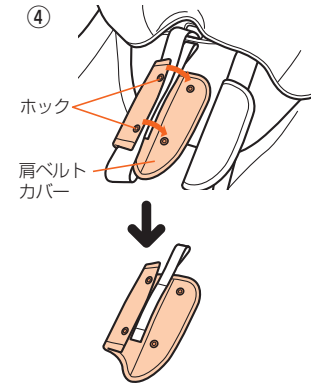
※ヘッドレスト部から幌（Premiumのみ）を取りはずしてから、シートカバーを取りはずします。（26ページ「幌の取りはずしかた」参照）

幌（Premiumのみ）をご使用の場合、幌を取りはずしてから（26ページ）、シートカバーを取りはずしてください。
インナークッションについては、「インナークッションの使いかた」（19ページ）を参照してください。

ヘッドレストカバーの取りはずしかた

① ヘッドレスト部を最上段まで引き上げる。（ヘッドレスト部の操作は46ページ参照）
② ヘッドレストカバー両側のフック（2ヵ所）をはずす。
③ ヘッドレストカバー上部裏のフック（2ヵ所）をはずし、フックからヘッドレストベルトをはずす。
④ ヘッドレストカバーを取りはずす。

シートカバーの取りはずしかた

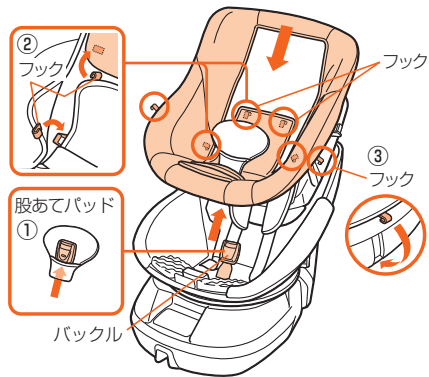
① 座面の奥側のフック（4ヵ所）をはずす。
② シートカバーの外側のフック（2ヵ所）をはずす。
③ 股あてパッドからバックルを引き抜き、シートカバーを引き上げ取りはずす。

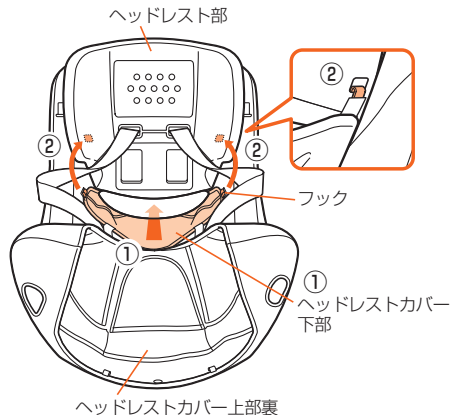
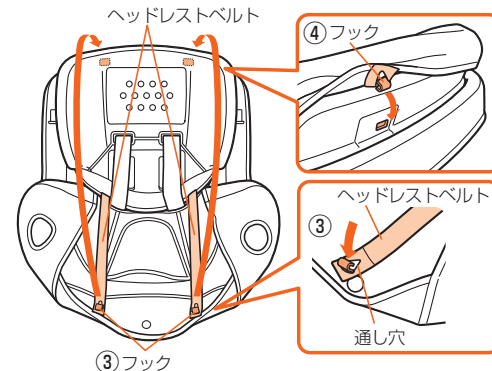
肩ベルトカバーの取りはずしかた

① シート部をまわして後向きにする。（29ページ参照）
② 幼児ベルト収納カバーの上側のツメをはずし、図のように開く。

③ ヘッドレスト調節レバーを引きながら、調節シャフトから肩ベルトカバー取付ループを引き抜く。

④ 肩ベルトカバーのホックをはずし、手前に引く抜く。

シートカバーの取り付けかた

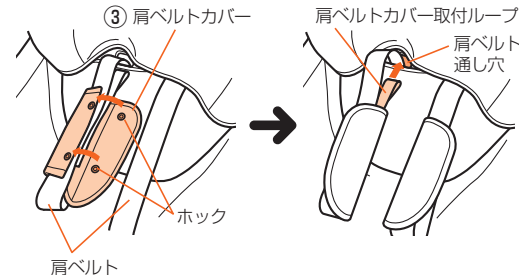
衝撃吸収パッド(Premiumのみ)の取り付け ・ 取りはずしは22ページを参照ください。
インナークッションについては、「インナークッションの使いかた」(19ページ)を参照してください。

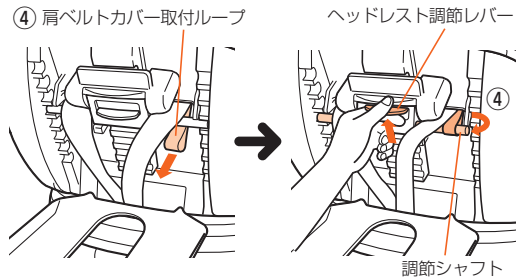
シートカバーの取り付けかた

① シートカバーを上部から本体にかぶせ、バックルを股あてパッドに通す。
② 座面の奥側のフック(4 ヵ所)をとめる。
③ シートカバーの外側のフック(2 ヵ所)をとめる。

ヘッドレストカバーの取り付けかた

① ヘッドレストカバー下部をヘッドレスト部にかぶせ、
② 両側のフック(2 ヵ所)をヘッドレスト部の側面にとめる。

③ ヘッドレストベルト先端の穴をヘッドレストカバー上部裏のフック(2 ヵ所)に通し、ヘッドレストベルトはフックに対して90°になるようにする。
④ ヘッドレストカバー上部をヘッドレスト部にかぶせ、ヘッドレストカバー上部裏のフックをヘッドレスト部の背面にとめる。

肩ベルトカバーの取り付けかた

① シート部をまわして後向きにする。(29ページ参照)
② 幼児ベルト収納カバーの上側のツメをはずし､開く。(52ページ参照)
③ 肩ベルトカバーのホックをとめ、肩ベルトカバー取付ループを肩ベルト通し穴に通す。

つづく

肩ベルトカバーの取り付けかた

④ ベルト通し穴から肩ベルトカバー取付ループを引き出し、ヘッドレスト調節レバーを引きながら、取付ループを調節シャフトに通す。
肩ベルトカバーを引っぱり、抜けないことを確認する。
⑤ 幼児ベルト収納カバーを確実に閉じる。

シートカバーなど縫製品の洗いかた

●洗濯時は次のことを守ってください。

	液温は 30℃を限界とし手洗いしてください。
	塩素系漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	強くしぼると、シワが残ることがあります。
	日陰で平干ししてください。

※洗濯の際は（蛍光剤、漂白剤、酵素などを含まない）中性洗剤をおすすめします。
※洗濯後、脱水機、乾燥機は使用しないでください。

●インナークッションを洗濯するときは、中に入っているウレタンを取りはずしてください。

本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

⚠警告
●中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

衝撃吸収パッド(Premium のみ)について

●衝撃吸収パッドは洗濯できません。
※ヘッドレストカバーやインナークッションを洗濯するときは、必ず衝撃吸収パッドを取りはずしてください。

幌（Premium のみ）のお手入れのしかた

● 幌は液中につけず、30℃以下の液温の洗剤をつけたスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
● 幌のプラスチック部分やホックなどでケガをしないように注意してください。
● 洗剤を使用して汚れを取った後は、水分を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
●乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
※製品の特性上、若干色あせすることがあります。

ウレタンについて

●シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本　体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、本体シートカバーの右側面の収納ポケットに保管してください。
（５ページ参照）

廃棄のしかた

- ●お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- ●衝突事故や製品を落下させたときなど、１度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品仕様

■製品サイズ

● RECARO Start X Premium
（W)460 ×(D)640 ～ 760 ×(H)680 ～ 780
※サポートレッグ含まず

● RECARO Start X
（W)460 ×(D)640 ～ 730 ×(H)506 ～ 613
※サポートレッグ含まず

■製品質量

●RECARO Start X Premium（ショコラーデ）
10.4kg　※幌、サポートレッグ含まず
11.6kg　※幌、サポートレッグ含む

●RECARO Start X（キルシェロト）
9.9kg　※サポートレッグ含まず
10.8kg　※サポートレッグ含む

■材　質

●本体 ------------------------- ポリプロピレン
●シートカバー ------------ 表／ポリエステル
裏／ウレタン

品質保証書
レカロ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社レカロ　スタートコール、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名　　ロットNo. （ベース部背面のシールをご覧ください）		保証期間 お買い上げ日より１年間 （ただし保証規定による）
お客様	お名前	お買い上げ日 年　月　日
	ご住所　〒　　TEL	
販売店	店　名　　TEL	
	住　所	

見本

修理メモ

保証規定

1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社レカロ スタートコールにお送りください。
3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
   (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
   (b) シートカバーなど、縫製部品の傷ややぶれ。
   (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
   (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
   (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   (f) 本書のご提示がない場合。
   (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合
   (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

- ●お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
- ●万一故障が生じました場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- ●領収書（レシート）を本書と一緒に保管してください。
- ●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社レカロ スタートコール、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ●品質保証書にご記入いただいた個人情報は、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

発売元／レカロ　チャイルドセーフティ株式会社
〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島 5-5-15　新大阪セントラルタワー 10F

商品に関するお問い合わせ・ご相談は、レカロ　スタートコールにて対応いたします。
レカロ　スタートコール　0800-919-1906(フリーコール)

製造元／コンビ株式会社

153486040　　14.3